

地方協会だより

公益財団法人 兵庫県市町村振興協会



I これまでの経過概要

当協会は、昭和54年4月の設立以来、市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）、新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）の収益金を活用し、市町が行う公共施設の整備事業や災害など緊急対策のための資金融資、市町職員の資質向上を図るための研修、市町振興のための調査研究、情報提供、各種助成事業等を実施しています。

そして、平成24年4月1日から公益財団法人に移行し、市町の振興発展のため、各種市町振興事業を実施しています。

2 体制（平成29年4月1日現在）

評議員 6名
理事 7名（理事長、常務理事含む）
監事 2名
事務局 8名（兼務職員8名）

3 基金等の状況（平成29年3月31日現在）

(1) 基金積立資産 4,534,290千円
(2) 長期貸付金 27,421,290千円

III 事業概要

1 長期（短期）貸付事業

市町の施設整備事業に係る資金として平成3年度から長期貸付を行っています。また、災害時に緊急的な貸し付けを行う短期貸付を行っています。

II 協会の概要

- 1 関係市町数（平成29年4月1日現在）
40市町(28市12町) ※政令市（神戸市）を除く

【長期貸付実績】

貸付年度	貸付団体数	貸付事業数	貸付額(千円)	貸付残高(千円)
平成24年度	15	34	3,000,000	28,236,600
平成25年度	14	30	3,000,000	28,544,893
平成26年度	17	40	3,000,000	28,599,956
平成27年度	13	28	3,000,000	28,372,044
平成28年度	10	43	3,300,000	27,421,666

※平成28年度の長期貸付実績内訳（交付事業数43件）
5年償還（うち据置期間0～1年） 0.01% 6件
10年償還（うち据置期間0～2年） 0.01% 6件
15年償還（うち据置期間3年） 0.20% 31件
※償還方法は全て半年賦元金均等償還

2 交付事業

県内市町が行う公共施設の整備事業等（地方財政法第32条に規定する事業を定める省令に掲げられている事業）の財源として、市町村振興宝くじ（サマージャンポ宝くじ）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンポ宝くじ）の収益金を県内市町に交付しています。



西脇市 Miraieすくすくランド

○平成28年度交付実績 15億8,273万4千円

- ・サマー及びハロウィン交付金交付事業
(15億1,580万9千円)
(均等割3割、人口割7割で交付)
- ・社会貢献広報事業 (6,692万5千円)
(宝くじの収益金が住民生活に役立つことを周知するために市町が行った社会貢献広報事業に対して交付)



丹波市 青垣小学校 通学バス

3 市町振興助成事業

市町の振興発展を支援するため、市町及び各種関係団体に対して、助成を行っています。

- (1) 「あいたい兵庫キャンペーン」助成事業

兵庫県内各地の観光の魅力を全国に発信し兵庫県及び市町等が誘客促進を図る「あいたい兵庫キャンペーン」に対して市町負担相当額の助成を行っています。



(公社) ひょうごツーリズム協会 発行

- (2) 研修研究助成事業
市町の職員で構成する研究グループ等が行う調査研究事業等に対して助成を行っています。
- (3) ひょうご防災ネットとJ-ALERT連携事業
J-ALERT情報に係るインターネット回線利用料の助成を行っています。

【研修研究助成事業 平成27年度、28年度助成一覧】

年度	グループ名	構成市町	テーマ
27	徴収業務研究会	尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市	税の徴収技術・情報交換、徴収手法の紹介、徴収業務に関する先進技術、先進手法
	東播臨海広域行政協議会 若手職員共同研究事業研究会	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	市・町の枠を超えた広域的な観光施策をテーマにした、新たな市町間連携の可能性
	東播臨海広域行政協議会 東播磨の物産品販売等調査研究会	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	試行的な物産展の開催を通じた首都圏における圏域の魅力発信
28	東播臨海広域行政協議会 東はりま物産展等調査研究会	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	物産展を通じた圏域の知名度の向上及び、効果的な情報発信
	喫煙マナー研究会	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市	路上喫煙規制における諸問題
	播磨圏域連携中枢都市圏 政策創造プロジェクト	姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町	連携中枢都市圏が抱える政策課題等

4 研修事業

市町職員の能力向上と人材育成を図るために必要な研修に対する受講経費の助成や、パソコン研修事業を行っています。

- (1) 市町村職員中央研修所等研修助成
市町村職員中央研修所及び全国市町村国際文化研修所の市町職員研修受講経費の助成を行っています。
- (2) 救急救命士養成事業助成
救急救命士養成に係る受講経費の助成を行っています。

(3) パソコン研修事業

市町職員の情報処理能力の向上を図るため、県内3カ所で、中級から上級、応用など、習熟度に応じた様々なコースの研修を行っています。



パソコン研修 ミノ宮会場

- (4) 市町行財政運営支援事業
特別職等を対象とした地方行政課題研究会や市町職員を対象とした実務担当者研修等にかかる費用負担をしています。

【市町行財政運営支援事業内容】

事業名	目的
地方行政課題研究会	地方行政が直面している課題について研究するため、有識者を招いて、最新の情報を提供することにより各団体の地域づくりの推進を支援。
実務担当者研修	日々の行政需要に適切に対応する職員を養成する。
部局長等管理職研修	市町の管理職としての経営管理意識を高める。
市町職員研修	職員の階層別及びテーマ別に、兵庫県自治研修所で研修を実施し、資質向上を図る。

5 市町情報提供事業

様々なメディアを活用し、市町の魅力やまちづくり活動の取り組みなどを発信しています。

- (1) テレビ・ラジオの広報番組による情報発信
地域の魅力を創出し、県全体のイメージアップを図るため、各市町の行事、地元の名工、名産、祭りやイベントなど、旬のニュースや話題を紹介。

【平成28年度紹介実績】

- (明石市) 魚の棚商店街
- (伊丹市) 伊丹スカイパーク
- (相生市) 相生ペーロン競漕
- (豊岡市) 出石そば
- (赤穂市) 赤穂城
- (小野市) 小野そろばん博物館
- (朝来市) フォレストアドベンチャー
- (淡路市) 道の駅あわじ
- (神河町) 砥峰高原
- (新温泉町) 湯村温泉 等



【チャンネル】 サンテレビジョン

【放送時間】 毎週土曜日13:00~14:00

【出演者】 三船美佳 谷口英明 (アナウンサー)
グイグイ大脇 (兵庫県出身のお笑い芸人) 等

- (2) 市町の行財政や観光、文化などの情報や魅力の発信

県や市町の施策や施設の紹介のほか、学識者による地方自治を取り巻く問題の解説など、県、市町、住民を結ぶ行財政情報誌を発行する他、観光客を市町に誘致することを目的に、グルメ、テーマパーク、道の駅、温泉施設など、県内全市町の様々な観光情報等を雑誌に掲載。

- (3) 市町の行財政情報等の発信

市町の財政状況、統計情報、地域づくり

に関する情報等を取りまとめた「市町要覧」等を発行。

※(公財)兵庫県市町村振興協会 ホームページ
(<http://www.hygshinko.or.jp/index.html>)

6 広報宣伝事業

市町村振興宝くじ (サマージャンボ宝くじ) 及び新市町村振興宝くじ (ハロウィンジャンボ宝くじ) の販売促進と宝くじの収益金の社会貢献の意義を周知するため、グッズの作成や、各種メディア等での広報宣伝を行っています。

- (1) 市町との共同によるPR用うちわの作成・配布
- (2) ラジオスポットCMの制作・放送
- (3) 市町広報紙に広告を掲載
- (4) 映画館でのCM上映
- (5) 書店でのブックカバー広告の配布
- (6) 各種情報誌へ

広告を掲載

- (7) 通信販売
申込書を各
市町に配布
依頼



IV 今後の運営について

市町村振興宝くじ (サマージャンボ宝くじ) 及び新市町村振興宝くじ (ハロウィンジャンボ宝くじ) の売上げが年々減少していることに加え、近年の低金利に伴い長期貸付金の利息収入や、運用利息収入は今後ますます減少していく見込みです。

当協会を取り巻く環境がますます厳しくなっていく中、貸付利息等を財源とする全事業について、抜本的な見直しを行うため、現在、平成30年度以降の予算の組み方について、各市町等からも意見を聞き、検討を進めているところです。

これらを踏まえ、当協会としては、今後も市町振興の発展のため、設立目的に沿った各種事業をより効果的・効率的に実施していくよう努めてまいります。